

消防マスコット「キュータ」

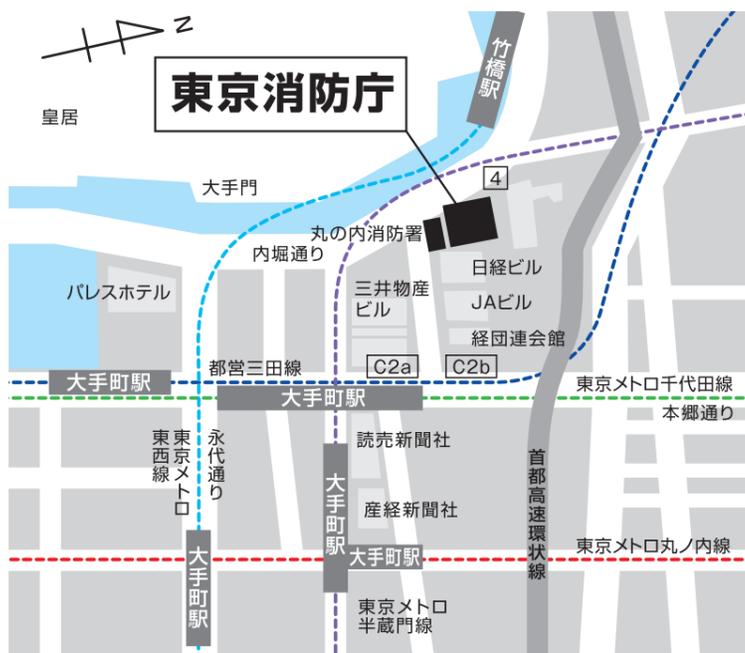
黄色のアンテナで危険を察知し、どんな災害でも駆けつけて救助・救命する、都民に愛される未来消防士をイメージしています。



東京の消防

FIRE SERVICE IN TOKYO

東京消防庁 本部庁舎のご案内



交通

東京メトロ東西線竹橋駅4番出口すぐ
東京メトロ千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線
各線大手町駅C2a・C2b出口徒歩1分

〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話 03-3212-2111(代表)

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



東京消防庁



目次

03 さまざまな災害に立ち向かう消防隊

新型コロナと猛暑で救急搬送相次ぐ
デイトタイム救急隊を増隊

05 組織

東京消防庁管轄区域／組織図／消防力／階級等

07 さまざまな災害に対応する消防車両の紹介

Topic 火災調査車

09 救助車両／救急車両

まだまだあります！東京消防庁の特殊車両

11 空の消防／海の消防

13 火災

火災件数と死者数の推移／令和3年住宅火災の出火原因
消火隊などの紹介／Topic ポンプ隊員の服装
備えて安心！住宅用防災機器等

15 救助

救助件数の推移／令和3年中の事故種別ごとの出場件数
救助隊などの紹介／Topic 第50回全国消防救助技術大会

17 救急

救急件数の推移／令和3年初診時程度／救急隊などの紹介
あなたの応急手当が大切な命を救います／Topic 応急救護普及車
病院？救急車？迷ったときは#7119に相談しましょう

19 災害救急情報センター

令和3年中の119番入電状況
119番通報の多言語対応／Live119
119番は落ち着いて、安全な場所から通報。

21 消防体制の確保

消防職員・消防団員の育成／採用情報～未来を、私たちの手で～
安全対策の推進／確実な機器を災害現場へ

23 火災予防

繁華街地域における防火安全対策
避難経路の安全を確保する取組み
建物の安全・安心情報の発信／飲食店における防火安全指導
ガソリン販売時の注意喚起／電気火災の予防
火災予防に関する様々なコンテンツを動画や
ホームページでご覧いただけます

25 防災

住宅用火災警報器等の維持管理の促進
住まいの防火防災診断／家具類の転倒・落下・移動防止対策
知識と体験で防災行動力アップ

27 消防団

消防団の入団条件／消防団員の処遇／消防団の技能講習
消防団の組織／消防団の施設／可搬ポンプ積載車
消防団の組織力を充実・強化するための制度

29 都民のみならずとともに

東京消防庁音楽隊／東京消防庁カラーガーズ隊
はたらく消防の写生会／消防少年団
災害時支援ボランティア
Topic 在在外国人への安全・安心情報の発信

31 情報発信

東京消防庁公式ホームページ／Topic 東京消防庁マップ
東京消防庁公式アプリ／SNSによる情報発信
YouTube東京消防庁公式チャンネル
広報紙「広報とうきょう消防」

33 見学・体験施設のご案内

消防博物館／防災館

34 各種窓口のご案内

都民相談窓口／災害情報案内／消防署窓口



さまざまな災害に立ち向かう消防隊

発生する災害はさらに複雑に、そして多様化しています。

あらゆる災害に対応し、都民の安全・安心を守るため、東京消防庁では、最新鋭の消防車両や装備を備え、日々訓練を重ねています。



新型コロナと猛暑で救急搬送相次ぐ

令和4年の夏は、連日の猛暑による熱中症等の救急搬送が増加する時期に、新型コロナウイルス感染症の第7波が重なり、救急出場件数が大幅に増えました。都内では、救急車の出場件数が一日に3,000件を超える日が相次ぎました。(令和3年中：1日平均2,038件)

当庁では、このようなひっ迫する現場の状況を受けて、臨時的救急車を増強し出場させるなど、全庁を挙げて対応しました。



デイトタイム救急隊を増隊

救急需要が高まる日中の時間帯に運用する「デイトタイム救急隊」を増隊しました。



令和4年10月運用開始：荻窪署、光が丘署、石神井署、西新井署（令和元年：池袋署、令和3年：荏原署、板橋署、金町署）

組織

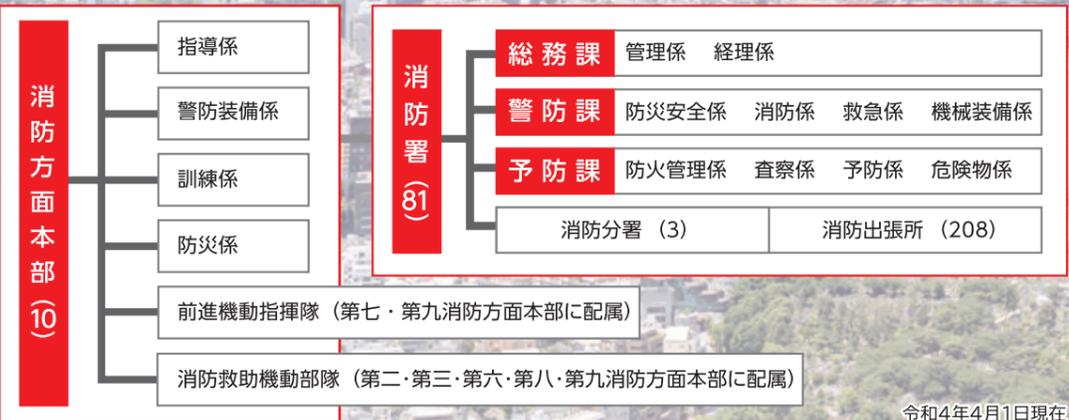
東京消防庁管轄区域

東京消防庁は、昭和23年3月7日、自治体消防として発足以来、都民の生命、身体及び財産を災害から守るため、島しょ地域と稲城市を除く東京都のほぼ全域の消防防災業務を担っています。

高層マンションや商業施設が多い都市部、緑深い山々が広がる山間部など約1,770平方キロメートル、人口約1,400万人を、約18,600人の職員が、みなさまの安全・安心を守るため消防行政を強力に推進しています。



組織図



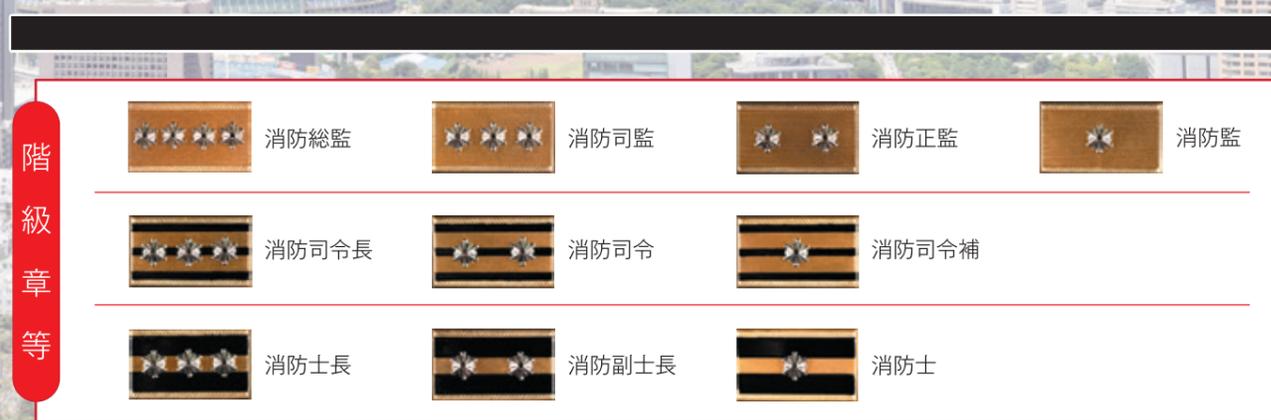
消防力

管内の各消防署に最新鋭の消防車両などを計画的に配置するとともに、災害にいつでも対応できるよう職員が24時間体制で勤務しています。

消防職員合計	18,655人	消防署	81署
消防吏員	18,233人	消防分署	3分署
消防吏員以外の職員	422人	消防出張所	208所
		消防車両等	2,009台

令和4年4月1日現在

階級等





さまざまな災害に対応する消防車両の紹介

東京消防庁では都内の消防施設に様々な車両を配置し、複雑化する災害に対して迅速に出場できる体制を整えています。

普通ポンプ車



火災発生時に消火活動を行うための車両です。消火栓や防火水槽などから水をくみ上げ、毎分2,000リットル以上放水可能なポンプを搭載しています。

水槽付ポンプ車



容量2,000リットルの水槽を装備している車両です。近くに水利がない火災現場においても、すぐに消火活動を開始することができます。

化学車



通常の放水では消火が難しいガソリンなどの危険物火災に対応するための車両です。消火に必要な泡消火薬剤や発泡器具を積載しています。

指揮隊車



災害現場で指揮本部を設置し、情報収集や活動命令を下すために運用する車両です。ワンボックス型の車両に、無線機等の通信機や指揮台、拡声器などを搭載しています。

消防活動二輪車



高速道路や山岳地域の災害現場にいち早く到着するため、オフロードタイプの自動二輪車をベースにした車両です。

先行車 (EVトライク)



道路幅が狭い地域で、いち早く災害現場に到着することを目的とした電動トライクです。

はしご車



主に高所での救助、消火活動を行う車両です。30メートルと40メートルの高さまで届くものや、電線等の障害物を避けるため先端部分が屈折するはしご車があります。

空中作業車



屈折式の塔の先端に3名搭乗可能なバスケットを取付けている車両です。中層階の救助、消火活動だけでなく、河川、運河等の低所での救助を行うことができます。

屈折放水塔車



屈折2塔式放水塔を装備し、最大22メートルの高さから放水が可能な車両です。泡放射も可能なことから、高所火災、危険物火災などで絶大な威力を発揮します。

照明電源車



夜間の消防活動において災害現場の照明作業を行うとともに、電力を必要とする消防機器や緊急に電力供給を必要とする施設等に給電できる車両です。

Topics 火災調査車

火災が発生した原因を現地で調査するための車両です。調査に必要な資器材や電源取得のための発動発電機を装備しているほか、車内で鑑識や事務作業を行うことができます。



▲車内で鑑識をする様子



▲車両後方は調査用の資器材が積載されている

救助車両



救急車両



救助車



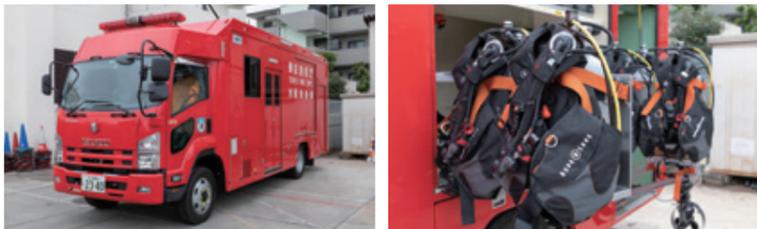
特別救助隊が災害現場で救助活動に対応するための車両です。ウインチ装置、昇降式照明装置、発電装置等を装備し、約500種類の救助資器材を積載しています。

救急車



救急救命士による高度な処置が行える資器材を積載しています。車内で処置をする際、傷病者に走行時の振動を与えないよう、緩衝装置のついた防振架台を装備しています。

水難救助車



水難救助隊が港湾、河川等の救助活動に対応するための車両です。スクーパーセット収納装置、船外機収納装置、照明装置、シャワー装置等を装備しています。

特殊救急車(陰圧型)



感染症の疑いのある傷病者に対応可能な車両です。運転室と傷病者の間に隔壁を設けるとともに、汚染された内部の空気を殺菌して屋外に排出できる構造とし、車内での救急処置を可能としています。

山岳救助車



山岳救助隊が、山岳災害での救助活動を行う車両です。走破性に優れた四輪駆動車をベースに、バスケット担架等の資器材を積載可能なルーフキャリア、可動棚式資器材収納庫を装備しています。

電気救急車



日本で初めての導入となる電気救急車です。重体重の傷病者への対応力を強化するため、電動ストレッチャー等を備えています。

特殊災害対策車



放射性物質、生物剤、危険物や毒劇物などの特殊災害に対応するための車両です。昇降式の風向風速計や車内陽圧装置(一部車両)を装備し、有毒ガスを特定する分析器、除染テント等の資器材を積載しています。

特殊救急車(スーパーアンビュランス)



救急車として患者搬送を行えるほか、救護所としての機能を有した車両です。ボディを左右に拡張することで、最大約40平方メートルのフラットな床面になり、最大8床のベッド数を備えることができます。

まだまだあります! 東京消防庁の特殊車両



ドラグショベル



トラクターショベル



クレーン車



重機搬送車



高機動救助車



全地形活動車



高機能指揮支援車



エアボート

空の消防



消防ヘリコプターは、中型機4機(ちどり・かもめ・つばめ・おおたか)、大型機4機(ひばり・ゆりかもめ・こうのとり・はくちょう)の合計8機を運航し、空からの消火、救助、情報収集、救急患者の搬送等を行っています。



▲傷病者を消防ヘリで搬送



▲消防ヘリの操縦席



▲消火活動する消防ヘリ

大型ヘリコプター



ひばり



ゆりかもめ



こうのとり



はくちょう

中型ヘリコプター



ちどり



かもめ



つばめ



おおたか

※「おおたか」は総務省消防庁の機体です。

海の消防



東京消防庁には9艇の消防艇があり、日本橋消防署、臨港消防署、高輪消防署に配置されています。船舶火災の消火に加え、港や海上での火災警戒、他船への火災予防の呼び掛け、河川や海での水難救助活動を通じて、東京港の安全を守っています。



▲大型化学消防艇「みやこどり」



▲東京港で水難救助訓練を実施



▲夜間の水難救助活動

大型消防救助艇



おおえど

化学消防艇



ありあけ



かちどき

指揮艇



はやて

水難救助艇



はるみ



きよす



はまかぜ



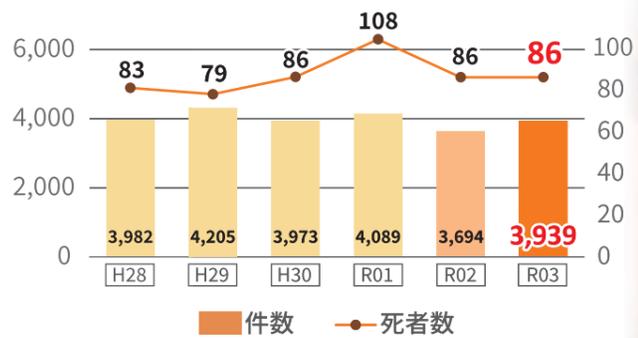
しづき

火災



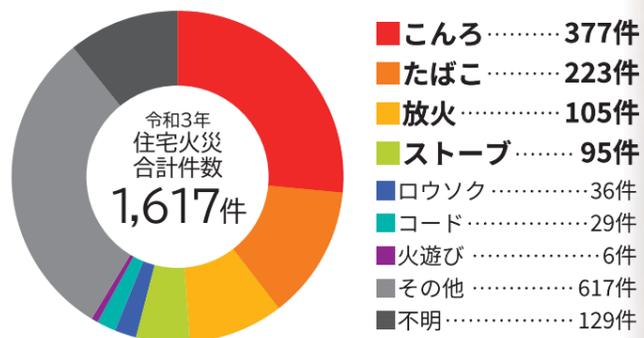
消防隊は消火活動を主な任務としており、あらゆる火災に迅速的確に対応するため、高度な知識、技術と強靱な体力を持った精強な消防部隊を育成、配備しています。

火災件数と死者数の推移



※令和4年の速報値 火災件数 3,950件 死者数91人

令和3年住宅火災の出火原因



ポンプ隊



火災現場での消火活動を主軸に活動する部隊です。救急車が到着するまでの間に応急手当などを行うPA連携にも対応しています。

特別消火中隊



複雑多様化する火災に対応するための高度な活動能力を有する消火部隊です。

はしご隊



高層階に取り残された人の救出や、高所からの放水を行う部隊です。

指揮隊



大隊長を中心とし、火災現場に出場している部隊を指揮・統括する部隊です。

前進機動指揮隊



災害現場では、安全管理に専従する部隊を指揮し、災害現場全体の安全を管理する部隊です。

Topics ポンプ隊員の服装



備えて安心！住宅用防災機器等

火災にいち早く気づくことができる「住宅用火災警報器」、火が接触しても着火しにくく燃え広がるのを防ぐ「防災製品」、火災の被害軽減に有効な「消火器」をご家庭に備えましょう。

STOP! 住宅火災
住宅防火の心得はこちら

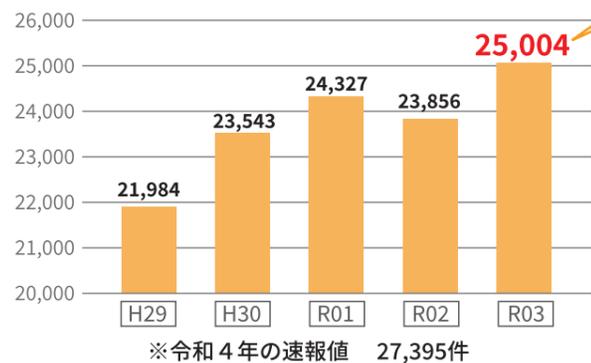


救助

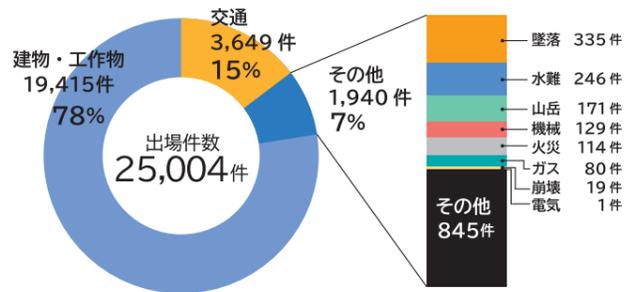


火災、交通事故、化学災害、水難事故、山岳事故等から命を救うため、高度な知識・技術・装備を備えた専門部隊を配置し、多種多様化する災害に適応した救助活動を展開しています。

救助件数の推移



令和3年中の事故種別ごとの出場件数



特別救助隊

火災や交通事故、自然災害などで、人命救助にあたる部隊です。昭和46年に当庁初の特別救助隊が発隊してから、令和3年で50年を迎えました。

【配置状況】 麴町・芝・蒲田・目黒・世田谷・新宿・杉並・豊島・板橋・練馬・石神井・上野・足立・深川・城東・江戸川・武蔵野・府中・東久留米・八王子・青梅・町田・多摩



▲現在の永田町特別救助隊



▲発隊当時の永田町特別救助隊



▲特別救助隊ワッペン

消防救助機動部隊



建物の倒壊や土砂崩れなどの大規模災害に対応し、消火・救助・救急活動が同時に行える部隊です。

【配置状況】
第二・第三・第六・第八及び第九消防方面本部

水難救助隊



水難事故で人命救助にあたる部隊です。消防艇や消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。

【配置状況】
日本橋・臨港・大森・足立・小岩・調布

山岳救助隊



山岳事故で人命救助にあたる部隊です。車両が進入できない危険な場所での活動では、消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。

【配置状況】
八王子・青梅・秋川・奥多摩

化学機動中隊



危険物や毒劇物、NBCなどが原因の特殊災害現場での人命救助、漏えい拡大の防止、除染などの活動をする部隊です。

※NBC…放射性物質、生物剤、化学物質などのことを指します。

【配置状況】
赤坂・大井・本郷・志村・千住・城東・三鷹・日野・福生

航空消防救助機動部隊



陸上から対応困難な高層ビルや孤立地域、水上での災害など上空から救助活動を行う部隊です。

【配置状況】
江東航空センター・多摩航空センター

即応対処部隊



広域自然災害発生時に、災害状況の迅速な確認・把握や、他隊と連携した救出活動を任務とする部隊です。

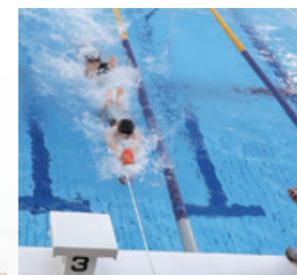
【配置状況】
救助課

※配置状況…令和5年4月1日現在

Topics

第50回全国消防救助技術大会

令和4年8月に東京都立川市で行われた本大会は、今回で第50回を迎えました。全国から集まった救助の精鋭たちが日ごろの訓練の成果を披露しました。



陸上の部

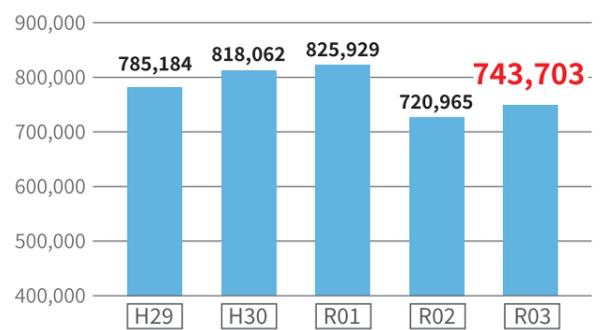
水上の部

救急



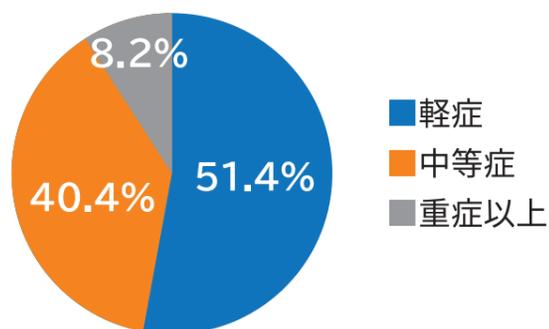
超高齢社会の進展等に伴い、救急需要の増加が見込まれます。救急隊が現場に到着するまでの時間を短縮するため、計画的な救急隊の増隊や救急隊の機動的な運用を行っています。また、都民のみなさまに対して、救急車の適正利用も呼び掛けています。

救急件数の推移



※令和4年の速報値 872,101件

令和3年初診時程度



救急隊



全ての救急隊に救急救命士を配置し、適切な応急処置と迅速な病院への搬送を行うための体制を確保しています。

救急機動部隊



時間帯等によって変化する救急需要に応じて待機場所を変更し、現場到着時間の短縮を図るとともに、多数傷病者、感染症、NBC災害などの事案に優先して対応する救急隊です。

デイトタイム救急隊



日中の救急需要対策を強化する目的で、平日の日中に運用している救急隊です。また、育児・介護等の事情で、24時間勤務が難しい職員の活躍の場にもなっています。

あなたの応急手当が大切な命を救います

けが人や急病人が発生した場合、バイスタンダー(その場に居合わせた人)がすぐに応急手当を行い、救急車が到着するまで続けることで、命が助かる可能性が非常に高くなります。いざという時に手を差し伸べられるよう応急手当を学びましょう。

応急手当を学ぶ方法

- 東京消防庁公式アプリ
- 東京消防庁HP電子学習室
- 救命講習
- 地域の防災訓練等
- YouTube 東京消防庁公式チャンネル



電子学習室



救命講習

Topics

応急救護普及車

イベントなどで応急救護訓練をすることができる車両です。心肺蘇生の訓練ができる人形や、訓練用AEDなどを積載しています。



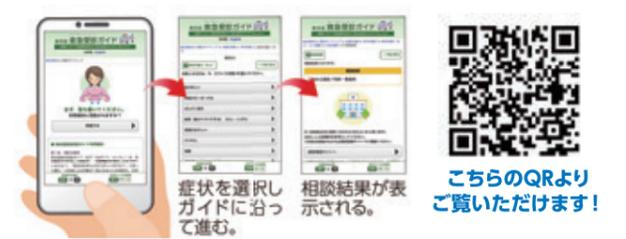
病院？救急車？迷ったときは#7119に相談しましょう

急な病気やけがをして、病院に行くか、救急車を呼ぶか迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者などの職員)が24時間年中無休で対応しています。

電話で相談(東京消防庁救急相談センター)



ネットでガイド(東京版救急受診ガイド)



災害救急 情報センター



東京都内※からの119番通報は、特別区では千代田区の特別区災害救急情報センターに、多摩地区では立川市の多摩災害救急情報センターに入電します。119番通報以外にも、警察機関や交通機関からの通報や緊急ネット通報、119番ファクシミリ通報、電話リレーサービスを介した119番通報、救急直接通報などの様々な通報に対応しています。※稲城市、島しょ地区を除く



通報

出場指令

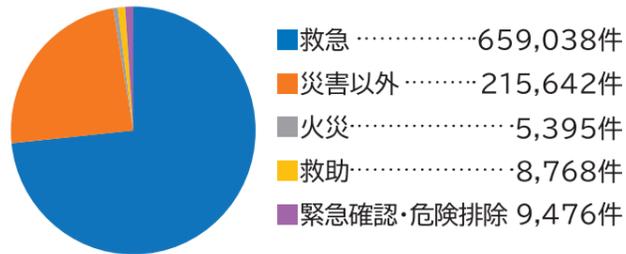
出場

令和3年中119番通報件数
898,319件

※1日平均約2,460件、およそ35秒に1件の割合で受付したことになります。

※令和4年の速報値 1,036,645件

令和3年中の119番入電状況



119番通報の多言語対応

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語については、通訳センターを介した同時通訳を行っています。

会話のみの口頭指導に加え、スマートフォンの動画送信機能を活用し、視覚的な情報により傷病者の正確な容態把握や効果的な応急処置の伝達が可能となる「Live 119」を導入し、映像を活用した口頭指導を実施しています。

Live119



119番は落ち着いて、安全な場所から通報。

火災の場合

東京消防庁の問い合わせ	通報者
消防庁、火事ですか、救急ですか。	火事です。
消防車が向かう住所を教えてください。	(例) 千代田区大手町〇丁目〇番〇号です。
何が燃えていますか。	(例) 居間のカーテンが燃えています。 (何が燃えているか具体的に伝えてください。)

屋外で、住所がわからないときは…？

公衆電話や自動販売機、電柱、建物の外壁にも住所が表示されている場合があります。コンビニエンスストアなど営業している店舗で住所を聞く方法もあります。また、著名な建物や交差点名などからも場所が特定できることがあります。

救急の場合

東京消防庁の問い合わせ	通報者
消防庁、火事ですか、救急ですか。	救急です。
救急車が向かう住所を教えてください。	(例) 千代田区大手町〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇号室です。
どうしましたか。	(例) 父が突然倒れて、意識がありません。 (誰が、どうしたのかを伝えてください。)
お名前を教えてください。(場合によって、電話番号を聞きます。)	〇〇〇です。 (電話番号は〇〇〇〇-〇〇〇〇です。)

救急車を呼ぶか迷ったときは#7119をご利用ください。
緊急時以外の相談窓口は34ページをご覧ください。

消防体制の確保



消防職員・消防団員の育成

新しく採用された消防職員の初任教育、特別救助隊員や救急救命士等の養成をはじめとした専門的な技術を習得する専科教育、管理監督者として必要な能力を身につける幹部教育などを行っています。また、地域防災の要となる消防団員の教育訓練等も行っています。



▲初任教育で着装訓練を行う消防学生



▲消防団員の専科教育

採用情報 ～未来を、私たちの手で～

業務内容や採用試験、業務説明会についての情報を「東京消防庁採用情報サイト」で公開しています。



▲消防学校の初任学生

安全対策の推進

消防や救急活動での重大事故を防ぐため、事故原因の分析や再発防止対策の充実強化に取組み、消防業務における事故を減らす安全対策を推進しています。

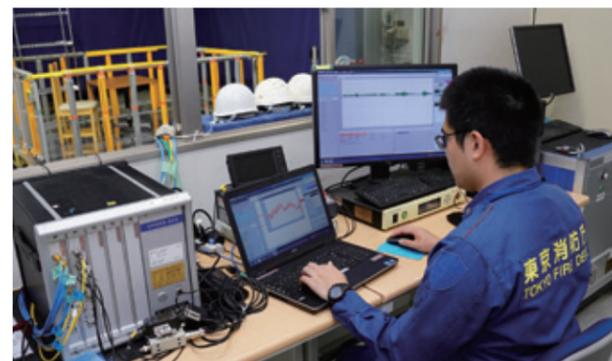
また、科学的見地に立った各種研究や、火災原因の鑑定等を行い、都民生活の安全確保や消防活動時の安全性の向上にも取り組んでいます。



▲過去の災害や事例からの教訓を学ぶ職員



▲南多摩総合防災施設での燃焼実験



▲振動発生装置を活用した実験



▲火災鑑定

確実な機器を災害現場へ

消防部隊が使用する車両、器具等を常に最良の状態に保つため、点検整備を行っています。

また、災害現場等において消防車両等にトラブルが発生した場合は、現場へ急行し、緊急整備を行えるよう24時間体制で消防隊をサポートしています。



▲整備中のはしご車



▲救急車を整備中の整備士



▲整備工場内の様子

火災予防



火災の発生を未然に防ぐため、建物や危険物施設などの検査や防火管理の指導、火災原因調査・分析などを行い、都民の皆さまの安全・安心の確保に努めています。

繁華街地域における防火安全対策



▲歌舞伎町の夜間査察に向かう機動査察隊

繁華街地域はテナントの入れ替わりが激しく、消防法令違反を繰り返す小規模雑居ビルなどが多数存在します。このことから、繁華街地域の防火安全の充実を図るため、積極的な立入検査を実施し、違反是正指導を強化しています。新宿歌舞伎町地域では、新宿消防署に24時間駐在する「機動査察隊」を配置しています。



機動査察隊員

避難経路の安全を確保する取組み



▲ビルの関係者に機動査察隊が避難経路に物を置かないよう指導している様子

建物の安全・安心情報の発信

- 優良防火対象物認定表示制度(優マーク制度)
防火安全性の高い優良な建物を認定する制度です。
- 違反対象物の公表制度
消防法令違反のある建物を公表する制度です。



優マーク

東京消防庁マップで検索・確認することができます。詳細は31ページをご覧ください。

飲食店における防火安全指導



▲飲食店の従業員にダクト汚れの危険性を指導

ガソリン販売時の注意喚起



▲ガソリンスタンドの従業員にガソリン販売時の本人確認等の必要性を指導

電気火災の予防

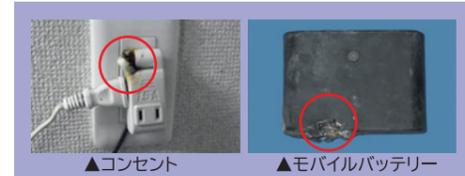
近年、電気製品を原因とする火災が増えており、全火災件数のおよそ3割を占めています。東京消防庁では「小さなこげ跡」も火災として扱い、原因を調べて火災予防につなげています。



▲電気火災の原因調査



▲電気火災 注意喚起動画(女優 白石 聖さん出演)



▲コンセント

▲モバイルバッテリー



火災予防に関する様々なコンテンツを動画やホームページでご覧いただけます

ネットで自衛消防訓練



防火管理に係る届出要領



火災から命を守る自主防火



防災



地震や水害といった自然災害を未然に防ぐ、または災害による被害をできるだけ「ゼロ」に近づけるため、一人ひとりの日頃の意識や事前の備えが大変重要です。都民のみなさまの安全安心な暮らしを守るため、新しい日常に対応した防災訓練の実施など、防災に関する様々な取組を行っています。

知識と体験で防災行動力アップ

大規模災害発生時には、地域住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」ことが必要です。東京消防庁ホームページの防火防災訓練ポータルサイトを活用した学習と防災訓練を繰り返し行い、防災行動力を身に付けましょう。

防火防災訓練ポータルサイト

防災訓練を企画する際や、防災訓練の事前学習として「防火防災訓練ポータルサイト」をご活用ください。

防災訓練をやりたいけど、どうしたらいいのかなあ？

そんな時は、「**訓練メニュー**」をご覧ください！
訓練前に学習できる動画やマニュアルなどを見ることができます！

防火防災訓練ポータルサイトとは

訓練メニュー 訓練を企画する際の参考資料はこちら	防火防災訓練ポータルサイトの紹介	防火防災訓練ポータルサイトの紹介	リモート防災学習 動画などのデジタル教材はこちら
防火防災訓練用車両の紹介 防火防災訓練用車両について知りたい方ははこちら	防火防災キャラクター「ふんわりふんわり」 「ふんわりふんわり」の紹介はこちら	初期消火マニュアル 消火器やスタンバイパイプのマニュアルはこちら	東京消防庁マップ 防火防災訓練等のイベント情報を確認したい方ははこちら

ネットやアプリを使ってリモート防災学習をしよう。

リモート防災学習



住宅用火災警報器等の維持管理の促進



住宅用火災警報器は、定期的に点検を行いましょう。正常な場合は正常を知らせる音声などが流れます。また、設置から10年を目安に本体を交換しましょう。



住まいの防火防災診断

高齢者や障害者など、要配慮者のお宅を消防職員が訪問し、火災・地震・日常生活事故などの危険性についてアドバイスをしています。



家具類の転倒・落下・移動防止対策

地震により家具類の転倒・落下・移動が起こると、けが・火災・避難障害の発生危険があります。事前に対策をしましょう。



まちかど防災訓練

防火防災訓練ポータルサイトで学習したあとは、実際に地域の防災訓練への参加や、防災館の防災体験で実践しましょう。実践したあとに再度、学習(復習)することで、さらに防災行動力を向上させることができます。



ご自宅近辺の路上など、身近な場所で初期消火訓練や救出救助訓練をご近所同士で行う実践的な訓練です。



まちかど防災訓練車
◆訓練に必要な水や資機材を積載した小型車両です。どんな場所でも手軽に防災訓練をすることができます。

防災訓練を検索

「いつ・どこで」防災訓練に参加できるか、消防マップで簡単に検索できます。
※消防マップの詳細は31ページをご覧ください



防災館

地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で体験訓練できます。
※開館時間、運営方法を変更する場合があります。防災館の概要は33ページ、詳細は防災館ホームページをご覧ください。



▲池袋防災館 毎週金曜日にナイトツアーを実施中
▲本所防災館 屋外やコンビニを想定した地震体験
▲立川防災館 親子向け防災学習広場

消防団



特別区(本所消防団)



多摩地区(町田市消防団)

消防団の入団条件

- 18歳以上の健康な方
- 消防団の区域に居住、勤務又は通学している方

消防団員の処遇

- 【報酬】**
▶年額報酬や出場手当の支給があります。
- 【公務災害補償】**
▶活動中に負傷した場合の様々な補償があります。
- 【被服等の給貸与】**
▶活動に必要な活動服や制服等が支給されます。
- 【退職報償金】**
▶5年以上消防団活動を行った方が退団した時に支給されます。
- 【表彰】**
▶活動にあたって功労、功績があった場合に表彰されます。



消防団員募集



入団資格
18歳以上の健康な方
消防団の区域に居住・勤務・通学している方

<https://tokyo23city-syobodan.jp/>
東京消防団

詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

☎ 0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

消防団の技能講習

消防団員には、第三級陸上特殊無線技士や二級小型船舶操縦士、可搬消防ポンプ等整備資格者、応急手当指導員、応急手当普及員などさまざまな資格が取得できる機会があります。また、手話や英会話など、スキルアップに役立つ講習を受講することもできます。

◀可搬消防ポンプを整備している消防団員



消防団の組織

東京の消防団は都知事が管理する特別区と各市町村長が管理する多摩・島しょ地区にそれぞれ設置されています。装備や制服・処遇など各市町村で異なるものもありますが、災害活動や防火指導など基本的な活動は変わりません。各消防団の現況については下表のとおりです。

	団員定数	団数	事務担当	制服・防火服など
特別区 (23区)	16,000人	58団	23区 各消防署	防火服・・・緑+紺 ヘルメット・・・緑
多摩地域	9,066人	30団	各市町村	各市町村で決めている 様々な仕様
島しょ地域	1,587人	10団		

消防団の施設

分団本部施設は、消防団員の活動拠点として活用しています。主に、火災や震災等の大規模災害時の参集場所、教育訓練、各種資機材の点検、分団会議及び各種警戒の拠点として使用し、各種資機材等を収納できる格納庫及び会議や訓練スペース等を併せ持った施設として整備しています。



▲高輪消防団第1分団本部(令和4年3月完成)



▲足立消防団第3分団本部(令和4年3月完成)

分団本部施設の規模・構造等

規模	延べ面積:約80㎡ 平屋または2階建 (1階格納庫、2階会議室等スペース)
構造	鉄骨造
設備	電気・給排水設備

可搬ポンプ積載車

特別区では、可搬ポンプ及び各種資機材を災害現場まで搬送するため緊急走行可能な軽自動車を315台配置しています。

(令和4年4月1日現在)



消防団の組織力を充実・強化するための制度

【機能別団員制度】

広報や応急救護指導など特定の任務に限定して活動する制度です。

【大規模災害団員制度】

消防職員・消防団員経験者、医療・建築関係従事者などを対象とし、大規模災害に限定して活動する制度です。

※詳しくは最寄りの消防署へお問合せください。



▲大規模災害団員の活動の様子

都民のみならずとも



災害に強いまちづくりを目指し、防災訓練、各種行事、幼少期からの防災意識の啓発などを通じて、都民のみならずへの防火・防災意識の普及に努めています。

東京消防庁音楽隊

「地域と奏でる防災のハーモニー」をキャッチフレーズとし、様々な行事や式典での演奏活動を通して、防火防災を呼びかけています。国家的行事をはじめ、都民と消防のふれあいコンサート、避難訓練コンサートなど、都内各地で演奏しています。



音楽隊 カラーガーズ隊

東京消防庁カラーガーズ隊

音楽隊とともにパレードや広報イベントなどに参加し、消防のイメージにふさわしい規律あるさわやかな演技で、都民の皆様に防火防災を呼びかけています。

はたらく消防の写生会

小・中学生向けに、消防隊員や消防車両などの写生画、火災予防や地震対策などのポスター、未来の消防車両や消防活動をイメージした図画を作成していただきます。



▲消防車とポンプ隊員を囲み画用紙に描く小学生



▲ミニ防火衣を着て自分の写生画を見つめる小学生

消防少年団

消防の仕事や火災予防に関心のある小学校1年生から高校3年生までの団員とボランティアの指導者によって結成されています。



▲初期消火訓練をする消防少年団員

災害時支援ボランティア

震災等災害時に応急救護活動や消防署の後方支援活動を行います。また、平常時は消防職員と連携し、地域住民に対する防災訓練指導を行います。



▲応急手当を指導する災害時支援ボランティア

Topic

在住外国人への安全・安心情報の発信

多言語対応パンフレット

在住外国人が安心して生活できるよう、119番通報要領や地震時の行動を紹介しています。
※東京消防庁ホームページでも公開しています。



対応言語

- ・やさしい日本語
- ・英語
- ・中国語(簡体字・繁体字)
- ・韓国語
- ・ベトナム語



救急ボイストラ



▲多言語翻訳アプリ「救急ボイストラ」を使用した救急活動

在住外国人を対象とした防火防災訓練



▲在日フランス大使館で初期消火訓練などを指導

情報発信

東京消防庁公式ホームページ

東京消防庁ホームページでは、都民のみなさまの防災意識と防災行動力を高めるため、災害統計をはじめ、各種災害の教訓、地震対策の情報、けがや事故の予防情報などの生活に密着した消防・防災情報、建物の安全・安心情報をタイムリーに提供しています。



ホームページ トップ画面



電子学習室

▲消防や防災に関することを学習できます。



安全安心情報

▲家庭や事業所での防災・救急のアドバイスなど、生活に密着した情報を掲載しています。



申請様式

▲消防に関する手続きをわかりやすく解説しています。

東京消防庁公式アプリ

多くの機能を備え、ユーザー個々の興味関心に合わせて利用できる「緊急時にも役に立つ」アプリです。



▲女優・松井玲奈さん出演。アプリダウンロード促進動画



SNSによる情報発信

TwitterとFacebookにて公式アカウントを開設し、季節ごとの日常生活事故の注意喚起や、イベントの情報などを発信しています。



Twitter : @Tokyo_Fire_D



Facebook : @TokyoFireDepartment



YouTube 東京消防庁公式チャンネル

東京消防庁の紹介、災害現場における消防隊の活動などを配信しているほか、楽しく防災を学べる動画や、新たな部隊、車両の紹介動画など豊富なコンテンツを配信しています。

チャンネル登録よろしくお願いします



広報紙「広報とうきょう消防」

東京消防庁が実施する業務を正しく伝え、都民のみなさまに安全・安心情報を発信している新聞折込み広報紙です。当庁ホームページや、電子チラシポータルサイトでも配信していますので、ぜひご覧ください。

以下のサービスでも配信中



▲電子チラシ「シュフー」



▲子育て情報プラットフォーム「コスレ」



▲アプリ「マチイロ」



お手持ちのスマートフォンや、パソコンからでもご覧いただけます！

見学・体験施設 のご案内

消防博物館

江戸時代に描かれた絵巻や錦絵、大正時代の消防クラシックカーから最新の消防隊の装備まで、消防に関する資料を展示しています。開館日の午後1時45分から30分間で館内を案内するガイドツアーを実施しており、子供から大人まで楽しみながら消防への理解を深めることができます。



所 在: 東京都新宿区四谷3-10
(東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅2番出口直結)
電 話: 03-3353-9119(代表)
開館時間: 午前9時30分から午後5時まで(入場無料)
休 館 日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)



防災館

防災館は、インストラクターの説明のもと、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で実際に体験し、「もしも」に役立つ防災力を高めることができる施設です。



池袋防災館

所 在: 豊島区西池袋2-37-8
電 話: 03-3590-6565
休 館 日: 第1火曜日、第3火曜日、
第3火曜日の翌日(祝日の場合はその翌日)年末年始
開館時間: 午前9時00分から午後5時00分まで
(毎週金曜日午後9時00分まで)



- 池袋駅から徒歩5分
- ナイトツアー実施中

本所防災館

所 在: 墨田区横川4-6-6
電 話: 03-3621-0119
休 館 日: 水曜日/第3木曜日(祝日の場合はその翌日)年末年始
開館時間: 午前9時00分から午後5時00分まで



- 最新鋭の地震体験
- 都市型浸水・暴風雨体験

立川防災館

所 在: 立川市泉町1156-1
電 話: 042-521-1119
休 館 日: 木曜日/第3金曜日(祝日の場合はその翌日)年末年始
開館時間: 午前9時00分から午後5時00分まで



- 子供向けの体験設備やスペースが充実
- 車での来館が可能

各種窓口 のご案内

都民相談窓口

東京消防庁では、広報課(本部庁舎)のほか、各消防署、消防分署、消防出張所に都民相談窓口を設けて消防に対する意見や要望等をお伺いしています。

広報課 都民の声係

電話番号: 03-3212-2111(代表) 内線 2325

FAX 番号: 03-3212-1027

e-mail tfdinfo@tfd.metro.tokyo.jp

平日午前8時30分から午後5時15分まで

※平日とは月曜日から金曜日まで、祝日、休日、年末年始(12月29日から1月3日まで)を除きます。

災害情報案内

23区内: 03-3212-2119 多摩地区: 042-521-2119

消防署窓口

●総務課

管 理 係: 採用試験の案内
経 理 係: 消防手数料の支払い

●警防課

防災安全係: 消防団・災害時支援ボランティア・
消防少年団に関すること、
防災訓練の申込み・指導、震災対策・
住宅防火対策に関すること
消 防 係: 火災とまぎらわしい行為の届出、
道路工事・水道の断水等の届出
救 急 係: 救命講習・応急救護訓練の申込み・
指導、救急車を利用した際の搬送証明
機械装備係: 消防車両・資器材等の問合せ

●予防課

防火管理係: 防火管理・消防計画の届出、
防火対象物点検報告制度、
自衛消防訓練に関すること、
各種試験・講習の申込み
予 防 係: 消防用設備等の設置相談、
建物の防火に関する相談・使用届、
催し物の届出
査 察 係: 消防用設備等の点検報告、立入検査の改修報告
危 険 物 係: 危険物の許可・認可、
火災で受けた損害の証明書(り災証明書)の申請

●消防分署・消防出張所

上記の事務を受付けていますが、内容により分署及び出張所では対応できない場合がありますので、事前にご相談ください。

※消防署により担当係・業務が異なる場合があります。事前に必ずお問い合わせください。